



# 明化の教育

5月号(第489号)

令和3年4月30日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

## 教育の基盤は信頼に支えられた人間関係～まずは挨拶から～

校長 熊倉 勝

「さようなら。」「さようなら。」「さようなら。」・・・  
先日お客様を玄関までお送りした時に、渡り廊下ですれ違った子供たちが次々に進んで挨拶をする姿がありました。その場がとても温かく感じたのは私だけでしょうか。  
さて、毎日何気なくしている挨拶ですが、知っているようで知らない挨拶の意味は、「心を開き、その心に近づく」ということだそうです。小さい頃から当たり前のように「挨拶はよいこと」と教えられてきたので、何となく大事だと分かっているつもりでも意外とその言葉の意味を知らないものです。挨拶は、人と関わる上で重要な役割をもち、「毎日を充実させるヒント」となる5つの力があるとされています。



### ① 感謝を伝えることができる。

挨拶を通して、相手に感謝の気持ちを伝えることができます。「ありがとうございます。」はもちろん直接的に感謝を伝える言葉です。また、「お疲れ様でした。」は、「今日もお世話になりました。」という意味も込めることができます。

### ② 存在を認めていることを示すことができる。

「心を開く」ということは、「存在を認めている」ということです。挨拶は、相手がいるのが分かったら「声をかけよう」と思っているものです。また、関わったことがない人でも挨拶されると、「私のことに気づいてくれたんだ。」とうれしくなります。挨拶は、承認欲求を満たす役割ももっています。

### ③ 仲良くなるきっかけになる。

挨拶は、仲良くなるための最初の一步です。何回も挨拶することで、相手も心を開きやすくなります。知っている人が誰もいない場所に行って、挨拶が話すきっかけになった経験があると思います。それはお互いが「この人は私に心を開いてくれたのかも。」と思えたからかもしれません。

### ④ よい印象を与えることができる。

第一印象は持続するとも言われています。挨拶は出会ってすぐするもので、人の印象を大きく左右します。挨拶には、約5秒ほどしかかかりません。それでよい印象を与えられるのですから、よいと思いませんか。

### ⑤ 緊張をほぐすことができる。

挨拶には、緊張をほぐす力もあります。緊張していても挨拶をされるとほっとするのではないのでしょうか。また、自分も声を出すことで緊張を解くことができます。緊張する時ほど元気な挨拶をすれば緊張をほぐすことができます。

では、気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいでしょうか。そのポイントは、次の3つです。

#### ① 笑顔を忘れずに ② 相手の目を見て ③ 相手に伝わるような声の大きさで

これは、「明化しぐさ」にもつながる大事な内容です。これから定着するように指導を積み重ねていきます。しかしながら、「挨拶をしなさい。」と言っただけでは、なかなか続くものではありません。挨拶をすることの心地よさを感じることで、はじめて自発的に行うことができると思っています。さらにその根底には、人と人との関わりの豊かさがあるのではないのでしょうか。本校では、教育活動を進めるに当たって、「教育の基盤は信頼に支えられた人間関係」を大切にしています。人と人との関わりを豊かにし、信頼関係を構築するためにも、まずは挨拶から始めたいと思います。